

協議会研修会記録

第58回研修会から第70回研修会、名古屋研修会および勉強会の記録を開催順にまとめた。

(第1回から第57回までの記録は本紙Vol.10に掲載)

1. 研修会記録は回、プログラム、開催年月日の各項目についての記録である。
2. 講師、発表者等の敬称は省略した。
3. 講師、発表者が協議会会員、担当者の場合は原則として施設名のみ記し、所属部署や職名は省略した。ただし、紛らわしい場合や必要のある場合は併記した。
4. 開催地は原則として省略したが、日本病院会全国図書室研究会のみ開催地、会場を記した。

(林 伴子)

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
58	<p>事例報告会</p> <p>(1) 図書室の引継業務－新任者の立場から－ 栗谷 正枝 (松下記念病院)</p> <p>(2) 図書室の引継業務－新任者の立場から－ 七浦 紀子 (大津赤十字病院)</p> <p>(3) 大阪府立系病院図書室の実態調査 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) 杉山フジ子 (大阪府立成人病センター)</p> <p>(4) 新たな図書室造りとその機能について 松井美抄枝 (大阪労災病院)</p> <p>(5) 入院患者への図書サービス－ボランティアへの協力－ 木下久美子 (高山赤十字病院)</p> <p><座長> 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p>	1990. 3. 23
59	<p>日本病院会全国図書室研究会 (京都・くに荘) －病院図書室の活性化－</p> <p>(1) 特別講演：いま図書館員として 前川 恒雄 (滋賀県立図書館長)</p> <p><座長> 船戸 正久 (淀川キリスト教病院病歴図書部長)</p> <p>(2) 図書室業務の最近の動向</p> <p>1. 相互貸借をめぐる</p> <p>① 病院図書室における件数の推移と文献入手方法の動向 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>② 相互貸借業務の諸問題 石井 道悦 (大阪大学附属図書館医学情報課図書受入掛長)</p>	1990. 9. 13-14

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>2. 資料の整理 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>3. 情報検索 河合富士美 (聖路加病院図書室)</p> <p>4. 出版の状況 西沢 正之 (医学書院洋書出版部)</p> <p>(3) 講演：図書室担当者の自主研修 山口直比古 (浜松医科大学図書館整理係長)</p> <p><座長> 小田中徹也 (国立京都病院・近畿病院図書室協議会事務局長)</p> <p>(4) シンポジウム：利用者サービス向上のために <シンポジスト></p> <p>① 利用者教育 石澤 實枝 (東京厚生年金病院図書室)</p> <p>② 広報活動 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>③ 利用環境(利用条件)について 長谷川湧子 (関東通信病院図書館)</p> <p>④ 司書の役割 山室真知子 (京都南病院)</p> <p><座長> 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院) 前田 元也 (西淀病院)</p>	
60	<p>(1) 講義と実習：CD-ROMの基礎知識 岩崎 泰人 (丸善 MASIS 関西センター所長)</p> <p>(2) 講義：看護関係資料の解説と評価 山添 美代 (聖路加看護大学図書室)</p> <p>(3) 事例報告：看護教育における文献検索および図書室利用指導</p> <p>① 志田 春海 (関西看護専門学校図書室)</p> <p>② 村山 惟子 (京都市立看護短期大学)</p>	1990. 12. 12
61	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 図書室勤務早や2年-最近2年間の図書室業務について- 小猿 友子 (耳原総合病院)</p> <p>(2) 3S業務の悪戦苦闘記-ゼロからの図書室づくり- 田中 泉美 (国立姫路病院)</p> <p>(3) 利用者の目に映るライブラリアンとは 大平 美里・笠原 廣子 (名古屋第一赤十字病院)</p> <p>(4) 簡易データベースによる図書管理 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p>	1991. 3. 30

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
62	<p>(5) 病院発行医学雑誌の投稿規定について 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>(1)</p> <p>① 製本雑誌に関する意識調査 千住とも子 (日生病院)</p> <p>② 分担保存の実施にむけて 重富 久代 (京都市立病院)</p> <p><座長> 浜口 恵子 (高槻赤十字病院)</p> <p>(2) 医学雑誌－編集企画から発行まで－ 永井 忠雄 (永井書店)</p> <p>(3) 脳神経外科領域の雑誌について 水川 典彦 (社会保険神戸中央病院脳神経外科部長)</p>	1991. 7. 3
63	<p>(1) 病院図書室に於ける医学関係図書・雑誌の購入方法 泉谷 嗣郎 (大阪赤十字病院)</p> <p>(2) 医学の基礎知識：アレルギーの臨床について 玉置 昭治 (淀川キリスト教病院皮膚科部長)</p> <p>(3) パソコンを使得の雑誌特集記事の活用 飯田 育子 (浜松赤十字病院図書室)</p> <p>－アンケート報告－ 近畿病院図書室協議会会員機関におけるパソコンを使った特集 記事活用状況 近畿病院図書室協議会ネットワーク研究班</p>	1991. 12. 18
64	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) CD-ROM文献検索システムの導入と利用状況 大橋真紀子 (社会保険中京病院)</p> <p>(2) 大阪労災病院におけるCD-ROM文献検索の利用状況 松井美抄枝・田中 道夫 (大阪労災病院)</p> <p>(3) コンテンツ・サービスについて 山崎 捷子 (淀川キリスト教病院)</p> <p>(4) 松阪中央総合病院の図書室業務 森川 治美 (松阪中央総合病院)</p> <p>(5) 今後の病院図書室のあり方について －図書委員会と図書館員の役割－ 前田 元也 (西淀病院)</p> <p><座長> 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p>	1992. 3. 23
65	<p>日本病院会全国図書室研究会 (神戸・兵庫県民会館)</p> <p>－資料の保存について－</p>	1992. 9. 3-4

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>(1) 特別講演：臨死の読書と回復期の読書 鶴見 俊輔 (評論家)</p> <p><座長> 船戸 正久 (淀川キリスト教病院病歴図書部長)</p> <p>(2) 講演：図書館における資料保存の考え方 二宮嘉須彦 (日本図書館協会資料保存委員会委員長)</p> <p>(3) 講演：中国四国地区におけるバックナンバーの分担保存制度 昼馬 逸郎 (宇部短期大学教務課長)</p> <p>(4) 講演：ADONISについて 平山 恵三 (紀伊國屋書店国際情報部関西オンライン課課長)</p> <p>(5) 講演：著作権について 前田 章夫 (大阪府立夕陽丘図書館)</p> <p>(6) シンポジウム：病院図書室における資料の保存と廃棄 <シンポジスト></p> <p>① 資料の保存上の諸問題 千住とも子 (日生病院)</p> <p>② 資料の分担保存 加島 民子 (大阪回生病院)</p> <p>③ 資料の廃棄 (廃棄基準を含む) 飯田 育子 (浜松赤十字病院図書室)</p> <p>④ 資料の保存方法の動向 前田 元也 (西淀病院)</p> <p><座長> 戸津崎茂雄 (京都南病院副院長)</p>	
66	<p>(1) ビデオによる図書館利用案内 原 栄子 (羽衣学園短期大学)</p> <p>(2) 医学の基礎知識：麻酔のおはなし 久富 義郎 (大阪回生病院麻酔科部長)</p> <p>(3) 講演：看護系の資料について－単行書を中心に－ 山添 美代 (元聖路加看護大学図書館)</p> <p>(4) 外国雑誌の一括発注方式について</p> <p>① アクセス方式という販売方法について 一見 益男 (紀伊國屋書店)</p> <p>② 丸善MACS2の導入例 荒川 直子 (厚生連更生病院)</p> <p>③ アンケート報告 近畿病院図書室協議会加盟機関における外国雑誌の購入方法の現状</p> <p><座長> 泉谷 嗣郎 (大阪赤十字病院)</p>	1992. 12. 15

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
67	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 当図書室の個人図書購入斡旋について 山崎 捷子 (淀川キリスト教病院)</p> <p>(2) 2年間の図書室業務を振り返って 松田智恵子 (大阪府済生会泉尾病院)</p> <p>(3) 丸善外国雑誌一括発注方式を利用して 七浦 紀子 (大津赤十字病院)</p> <p>(4) 図書室の年次報告書の作成 木下久美子 (高山赤十字病院)</p> <p>(5) 院内報の発行 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p>	1993. 3. 29
68	<p>(1) 相互貸借業務について</p> <p>① 近畿地区医学図書館へのファックス申込方法と近病図協会員への研修部アンケート報告</p> <p>② MRの文献提供の自粛による影響と病院図書室 <司会> 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>③ 相互貸借の手続きについて</p> <p>(2) 丸善MACS2外国雑誌一括発注システム 古田 健一 (丸善外国雑誌センター営業促進課)</p> <p>(3) 医学の基礎知識：MRSAについて 西尾 晃 (社会保険神戸中央病院内科部長)</p>	1993. 7. 2
69	<p>(1) 医学図書館へのファックスの文献申込方法 報告：研修部</p> <p>(2) 近畿病院図書室協議会「現行雑誌所在目録」の編集作業について 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(3) 日本語医学文献の探し方 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>(4) 医学中央雑誌CD-ROM検索方法－講義と実習－ 齊藤 元弘 (医学中央雑誌刊行会電子出版課)</p>	1993. 12. 8
70	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 徳洲会病院内での相互貸借業務 大久保 緑 (宇治徳洲会病院)</p> <p>(2) 入会1年間を振り返って 寺澤 裕子 (関西労災病院)</p> <p>(3) 看護図書館協議会の紹介 林 志穂 (日本赤十字愛知女子短期大学図書館)</p>	1994. 3. 25

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(4) JMLA加盟館に対してFAXにおける「文献複写依頼」アンケート調査を実施して 前田 元也 (西淀病院) (5) CD-ROM文献検索の利用者記録 小田中徹也 (国立京都病院) <座長> 大橋真紀子 (社会保険中京病院)	

名古屋研修会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
1	(1) 講義：病院図書室の仕事と必要な知識 松本 純子 (住友病院) (2) 事例報告 ① 愛知県下の病院図書室の実態 (アンケート調査結果報告) 大平 美里 (名古屋第一赤十字病院) ② 当院図書室業務の再考 木下久美子 (高山赤十字病院) (3) 講義：大学図書館と病院図書室 中沢 成彦 (愛知医科大学医学情報センター)	1989. 10. 14
2	(1) 講義：図書室の役割 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院) (2) 事例報告とディスカッション：病院図書室のスタートから今日まで ① 図書室業務の電算化の一事例 青山真奈美 (公立陶生病院) ② 当院の図書室業務 大橋真紀子 (社会保険中京病院) ③ 図書室と利用者の関わり 大平 美里 (名古屋第一赤十字病院) <司会> 小田中徹也 (国立京都病院)	1990. 11. 29
3	(1) 講義：大学と病院間の相互貸借について 山本 泰雄・今村 久恵 (名古屋市立大学図書館医学部分館) (2) 講義：分類と貸出について 山室真知子 (京都南病院) 松本 純子 (住友病院)	1991. 11. 28

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	事例報告	
	① 名古屋第一赤十字病院における分類と貸出 大平 美里 (名古屋第一赤十字病院)	
	② 松阪中央総合病院の図書室業務 森川 治美 (松阪中央総合病院)	
4	(1) 講義：必要とされる情報〔資料〕を提供するために －担当者の役割と必要な知識－ 木下久美子 (高山赤十字病院)	1992. 10. 31
	(2) 講義と実習：“CD-ROM”情報検索の有効な手段として 〔協力〕丸善メイシス関西センター	
5	(1) 事例報告	1993. 10. 30
	① 文献の相互利用業務を始めて3年 安江 聖子 (国立名古屋病院)	
	② 文献の相互利用業務に追われる毎日の中で 伊佐治裕子 (名古屋記念病院)	
	(2) 東海地区医学図書館と文献複写サービスに関するアンケート報告 大橋真紀子 (社会保険中京病院)	
	(3) 講義：国立大学医学図書館と病院図書室における相互利用の現状 新堂 富生 (三重大学医学図書館図書係長) 森 一雄 (岐阜大学附属図書館図書館専門員兼医学部 分館図書係長)	
	(4) フリーディスカッション	

勉強会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
1	病院図書室の基本的な業務について －“医学資料の整理と利用”を使って 講師：研修部	1991. 9. 26
2	利用者サービスについて 講師：研修部	1992. 6. 18
3	相互貸借業務について	1993. 5. 26
	① 概 論：首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)	
	② 基本編：徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)	
	③ 応用編：山室真知子 (京都南病院)	
	④ 受付側から：松本 純子 (住友病院)	
	⑤ 実 習：林 伴子 (社会保険神戸中央病院)	